

※注意：このシートは横浜市の
ホームページ等で公開されます。

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）②

支援専門分野に関する支援の実績等	支援専門分野の内容・支援可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等 ※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。 (200文字以内かつ9行以内)
	海外と日本の地域コミュニティの学びあい	横浜市とタイやミャンマー、南米などの地域コミュニティ	2017年ー現在	日本の地域で民生委員、見守り活動実施ボランティア、コミュニティ食堂運営ボランティアなどと海外で同様の活動をするボランティアとの学びあいによる双方の地域活性化を実施。 2020年以降は zoom 活用による相互訪問の実施。
	学生による地域コミュニティ調査	横浜市西区	2019年ー現在	まちづくりを学ぶ／興味のある学生による地域コミュニティ調査や提言、学びあいによる地域の活性化活動の実施調整。
	地域コミュニティ活動の実践	横浜市西区	2017年ー現在	地区社協理事、町内会役員、まちづくり協議会委員、防犯パトロール委員などの実践。
	団地再生コーディネーター	すすきの団地	2021年	すすきの団地における団地再生のためのワークショップ／発表会の実施支援。

自身の考えるコーディネーターの役割とまちづくりのポイント（500文字以内）
 国際協力事業団（JICA）専門家として、タイ・ミャンマーなどアジアの途上国で長くコミュニティ作り、社会的弱者支援を行ってきました。2016年に日本に帰国したあと、独立してソーシャルビジネスコンサルタントや評価コンサルタントを行いながら、西区でコミュニティスペース運営や、地域での活動の実践を行っています。
 日本でコミュニティづくりをはじめようと思ったきっかけは、
「海外のコミュニティ作りと日本のコミュニティ作りが、案外共通点が多いのではないかと」
 と思ったのですが、実際に日本で活動を開始して、当初考えた以上に似ていると感じています。
 一方で、日本では途上国よりもコミュニティで使えるリソースは圧倒的に多いのですが、逆にそれがゆえにリソース頼みとなる可能性もあると感じています。社会資源に限りがある途上国の経験は日本のまちづくりでも活かせるのではないかと感じています。
 日本のコミュニティを学びながら街づくりをしていきたいと思っております。よろしくお願ひします。

必要に応じて資料を A4 判 1 ページまで添付できます。